

2016年度 関東地区グループ活動

異業種工場見学会を実施

協豊会関東地区では毎年、地区グループ活動の一環として、異業種優秀企業・CSR先進企業等訪問による工場見学会を実施しています。

今年は、去る9月2日（金）に、『日本のものづくりを支えるものづくりを学ぶ』をテーマにして、関東地区グループ活動への参加登録会社38社からの39名と、協豊会事務局の大村局長様にもご参加をいただき、産業用ロボットで世界有数の企業である(株)安川電機さん（福岡県北九州市）を訪問し、同社のロボット村を見学させていただきました。



【ロボット村の全景】



【みらい館（2階）】

安川電機さんは産業用ロボット等メカトロニクス、モーションコントロール、システムエンジニアリングの3つの領域を主な事業にして、産業用ロボットの生産台数で世界1位を誇り、サーボモーターやインバーターでも共に世界首位のメーカーです。

見学会はまず、安川電機さんの会社概要として、同社の沿革や事業内容のご紹介を頂き、続いて創業以来のDNAとして受け継がれて来ているものづくりへの思いと拘りを、現在は未来に向けた“武士道プロジェクト”として展開をされているという話を伺いました。

現場見学では見学者を2班に分けて、ロボット村を構成している「みらい館」、「第1工場」、「第2工場」をそれぞれ見させていただきました。ロボットがロボットを造る製造工程や、究極のクリーン環境で人が行う精密な作業、最先端ロボットが演出する大迫力のエンタテインメントショーなど、予定された時間を忘れてしまうほど内容の濃い見学をすることができました。

今回の見学で、安川電機さんのものづくりでは「なによりも現場を大切にする」、「お客様を知り、我々の技術でお客様の悩みを解決する」、「日本らしさに拘る」、「地域に貢献し共に発展していく」、「日本の子供たちにもものづくりの魅力を伝えていく」などを大切にしながら取り組まれているということを知ることができました。

見学会参加の各社では日頃より安川電機さんの製品やサービスでお世話になっている会社も多く、今回の見学を通じて、同社のものづくりへの考え方やお取り組みについて改めて知る機会となり、大変意義のある見学会となりました。



【工場見学会に参加された皆様】